

臨床 P B L

Clinical PBL

コース責任者

PBL委員長 力石 辰也

1. 学習目標

1) 全体目標（一般目標）（G I O）

日進月歩の医療の進歩に遅れないように、医師として生涯にわたり学習し続けるために、自分に必要な学習項目を自分で発見し、自学自習する能力を養う。

2) 個別目標（行動目標）（S B O）

SB01: 課題に対して、すでに持っている知識を整理し、説明できる。

SB02: 問題点や疑問点を自ら見出し、指摘できる。

SB03: 自習すべき事柄を順位をつけて列挙できる。

SB04: 必要な文献を適切な方法で検索できる。

SB05: 得られた情報を吟味しノートに整理できる。

SB06: グループ討論に積極的に参加し、成果を発表できる。

① 調べてきたことを自分の言葉で分かりやすく説明できる。

② 他者の話を理解して、考えの違いを論述できる。

2. 学習内容

1) 症例をもとに臨床推論の過程を学ぶ、と同時に関連知識を確実なものにする。それぞれの教育コースと関連付けて行われる。

2) 病態生理の理解に加えて、疾患そのものを学ぶ、治療法を学ぶということにも重点を置く。

3) 前期に 7 課題、後期に 6 課題を行う。

3. 学習方法

1) 実施日時

平成 29 年 4 月 5 日～平成 29 年 12 月 13 日の毎水曜日

2) P B L 時間配分

(1) グループ・セッション：3 時限（終了は 12 時 50 分）

(2) 全体セッション：4（開始は 14 時 00 分）、5、6 時限

3) 実施場所：教育棟 4 階 SGL 教室

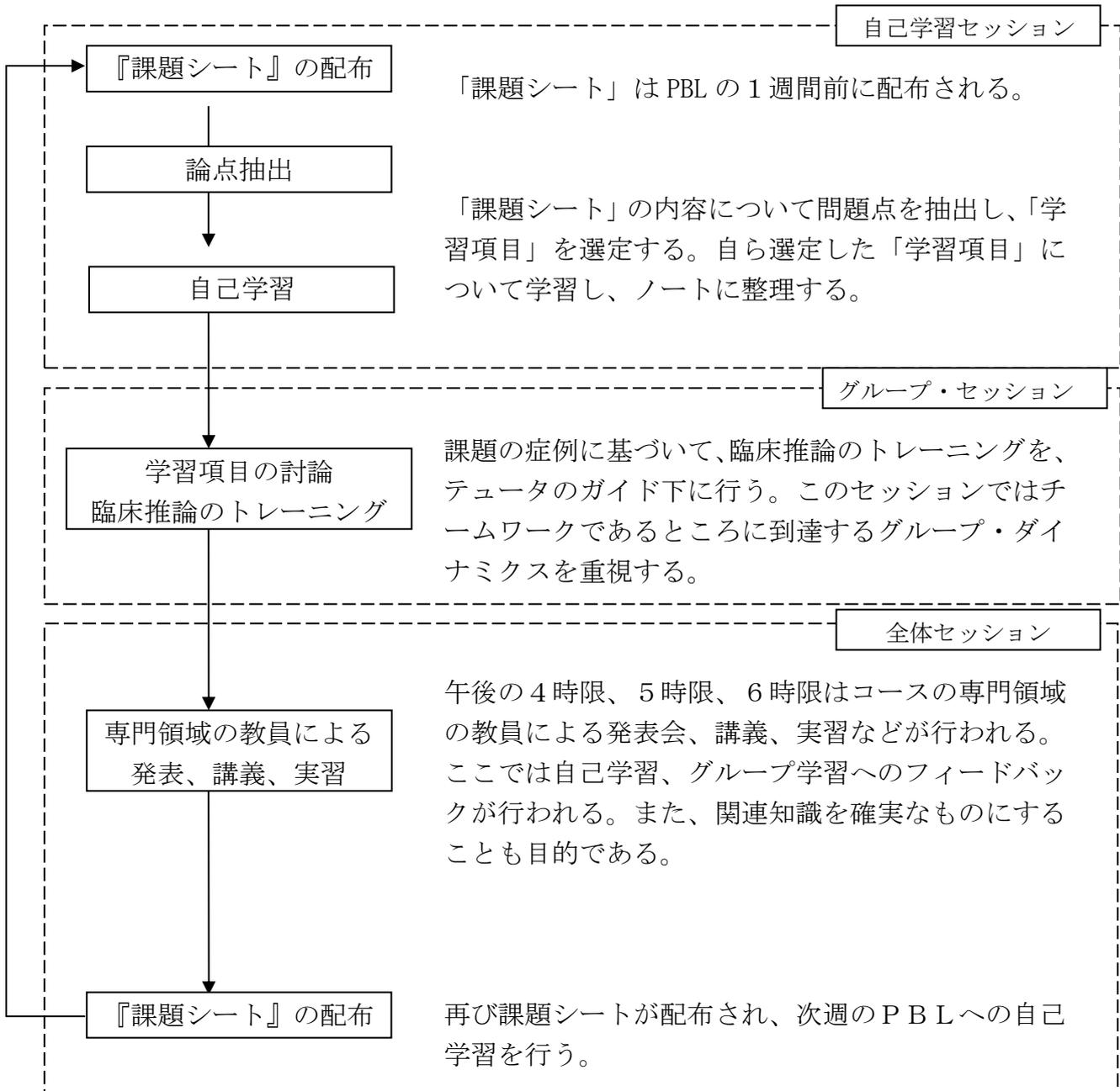
4) 学生グループ：1 グループ 8～9 名

5) テュータ（Tutor：個別指導員）

1 グループにテュータ 1 名（1 課題毎に交替）がつき、グループ・セッションのディスカッションの支援をする。

主として、臨床医学系の教員が担当する。

6) 基本的なPBLの流れ



以上の過程を1コース2週間行う（例外として1週間のコースもある）。

このような方法で、将来、目の前の患者の病態診断、治療を自ら考え、必要な情報を自ら手に入れて、遂行していけるようになる。

4. 成績評価

評価は以下の3つの柱からなる。

- 1) グループ学習評価
 - (1) 毎回の評価
 - (2) 出席状況
 - (3) 総括的評価

2) ポートフォリオ評価

学生は自ら学んだ過程をポートフォリオとして自らの成長記録として残すことを義務づけられる。

- (1) 毎回のチュータによる評価
- (2) 提出は適宜指示する。

3) 試験

- (1) 定期試験：前期と後期に臨床推論の過程を問う試験を行う。
- (2) ポストテスト：課題終了時に毎回、コースの責任者による試験を行う。

下記の評価項目を総合して総括評価する。

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	50(%)	前後期試験期間中に実施する。
授業態度 ポートフォリオ ポストテスト	26	50(%)	チュータによる毎回の評価。

5. 合否について

上記の評価割合を用いて総合的に評価する。

6. 事前学習

課題シートを基に問題点を抽出し、ポートフォリオを作成すること。

7. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
腎泌尿器 外科学	教授	力石 辰也	原則として 毎週火曜日 11:30～13:30	教育棟 2 階 キリスト教文化センター	3248 (内線) 80284 (PHS)